

復活 の 証人

今年のイースター(復活祭)は4月5日です。十字架にかかって死なれ、三日目によみがえられたイエス・キリストと出会った人は五百人以上にのぼると聖書に記されています。その中で、復活後一番にお会いしたのは、キリストを心から愛し従ったマグダラのマリアなどの女性たちでした。またキリストは、ユダヤ人を恐れて隠れていた弟子たちにも現れ『平安があなたがたにあるように』と言われて、その傷ついた手と脇腹を示されました。それから二千年以上がたった今日、その目でキリストにお会いしていなくても、その信仰によって「イエスは今も生きていて、私たちと共におられる」と証言している人々が世界中に多くおられるのです。

今月のバイブルフレーズ

「このイエスを、神^{かみ}はよみがえらせました。
わたし^{わたし}たちはみな、そのことの証人^{しょうにん}です。」使徒の働き2章32節

Oh! Happy Day

自分の敵を愛する



藤森 彼歩^{かれ ぶ} (舞台スタッフ)

人との関係が上手くいっていないとき、私たちの力でその人を愛するというのは難しいものです。その人の行いを裁いたり、無視したりします。しかし聖書にはこう書いてあります。『自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。』どうしてそのようなことができるのでしょうか。職場でのトラブルや人間関係の難しさを感じるとき、私の心は騒ぎ、葛藤を覚えます。多くの人は、そんな人とは関わりを絶ってしまえばいいと言います。しかし聖書の言う基準、クリスチャンに求められることは違います。どのようにして敵を愛することができるのでしょうか？その答えもまた聖書にあります。『私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。』

神様は全ての人を、その人が生れた時から既に愛してくださっています。その愛を受け入れ、神様の愛によって私たちの内側が満たされた時に、聖書の言うように人を、自分の敵をも愛することができるのです。

このことに気付いて、イエス・キリストを通して神様の愛を受け入れた時私は変えられました。人を裁くのではなく、受け入れ尊敬することができるように変えられていきました。もちろん、それで全てが上手くいくわけではありません。今でも苦手な人はいるし、争いや心の揺れ動きが全く無くなったわけではありません。それでも私の受け取り方は全く変わったということです。神様の愛によって、神様に感謝しています。